

Week2: Playwright CI 整備チェックリスト

このチェックリストは、Playwright を使った E2E テストの CI でよく起きる失敗を減らすための実用項目です。まず上から順に確認し、必要箇所を修正してください。

チェックリスト

1. 固定待機(waitForTimeout)を条件待機(waitForSelector/getByRole等)に置き換える
2. 主要セレクタを getByRole / data-testid に変更し、UI依存を減らす
3. `playwright.config.ts` で viewport / locale / timezone を固定する
4. CI コンテナに必要な日本語フォントをインストールする Dockerfile を用意する
5. スクリーンショット比較の閾値と差分ポリシーを決める
6. 並列実行時の共有リソース競合を検出し、問題テストは serial に分離する
7. テストごとに UUID サフィックス等の一意データを付与する
8. 外部 API は可能な限りモック/フェイクを利用する
9. 失敗時に必要なログ／スクショ収集テンプレを整備する
10. CI とローカルの依存バージョンをドキュメント化する